

「茨城県産重要魚種の生態と資源」を更新します

水産試験場では、本県沖で漁獲される主要魚種 21 魚種について、生態的特徴や資源動向をまとめた「生態と資源」をホームページで公開しています。それぞれの魚種の資源の水準と動向は、漁獲量や漁業での漁獲状況（1日1隻当たりの漁獲量）、水産試験場の調査結果等により評価しています。今回、評価の材料となるデータに平成28年1月から12月までの資料を加え（寿命が1年のヤリイカ、マダコについてはで世代に併せて平成29年8月まで）、資源の水準・動向を再評価しました。

回遊性資源 9 魚種

魚種名	H28評価		今回の評価		傾向
	水準	動向	水準	動向	
マイワシ	高位	増加	高位	増加	↑
マサバ	高位	増加	高位	増加	↑
カツオ	高位	減少	高位	-	-
サンマ	中位	横ばい	中位	減少	↓
シラス	中位	横ばい	中位	減少	↓
イカナゴ	低位	減少	低位	減少	↓
イシカワシラウオ	低位	減少	低位	減少	↓
カタクチイワシ	低位	減少	低位	減少	↓
サヨリ	低位	減少	低位	減少	↓

【資源の水準】

資源の水準は、評価に用いるデータの最高値と最低値の範囲を4分割し、上から1/4を高位、下1/4を低位、その中間を中位と評価しています。高位と評価された魚種はマイワシ、マサバ、カツオ、ヤナギムシガレイ、ヒラメの5魚種です。中位はサンマ、シラス、シライトマキバイ等9魚種、低位はイカナゴ、カタクチイワシ、チョウセンハマグリ、マコガレイ等6魚種でした。資源の水準は全魚種で前回の評価と同じで、特に増えたもの減ったものはありませんでした。

定着性資源 12 魚種

ヤナギムシガレイ	高位	増加	高位	増加	↑
ヒラメ	高位	増加	高位	横ばい	→
シライトマキバイ	中位	増加	中位	増加	↑
キアンコウ	中位	横ばい	中位	横ばい	→
ウバガイ	中位	横ばい	中位	横ばい	→
イシガレイ	中位	横ばい	中位	減少	↓
ヤリイカ	中位	減少	中位	減少	↓
マガレイ	中位	減少	中位	減少	↓
チョウセンハマグリ	低位	横ばい	低位	横ばい	→
マコガレイ	低位	減少	低位	減少	↓
マダコ	中位	-	中位	-	-
アワビ	-	-	低位	減少	↓

【資源の動向】

資源の動向は、各魚種で指標としている値の直近5か年の傾向から、増加、横ばい、減少を判断しています。資源の動向が変化した魚種は、増加から横ばいとなったヒラメ、横ばいから減少に転じたサンマ、シラス、イシガレイの4魚種でした。それ以外の魚種は前回と同じ評価となりました。

資源の水準・動向からみると、全体的には前回の評価から同じような状況が継続しています。マイワシ、マサバ、ヤナギムシガレイは資源が高位で増加傾向が継続しているので、今後

の漁獲量も増加傾向となることが予想されます。一方、資源が低位で減少傾向が継続している魚種は今後の漁獲量も低調となるものと考えられます。

詳細は水産試験場のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/suishi/index.html>



「生態と資源」
へのQRコード

【次回予告】 H29.11.21 発行の「水産の窓」は、
「平成29年度東日本女性漁業士交流会、茨城県にて開催される」を予定しています。